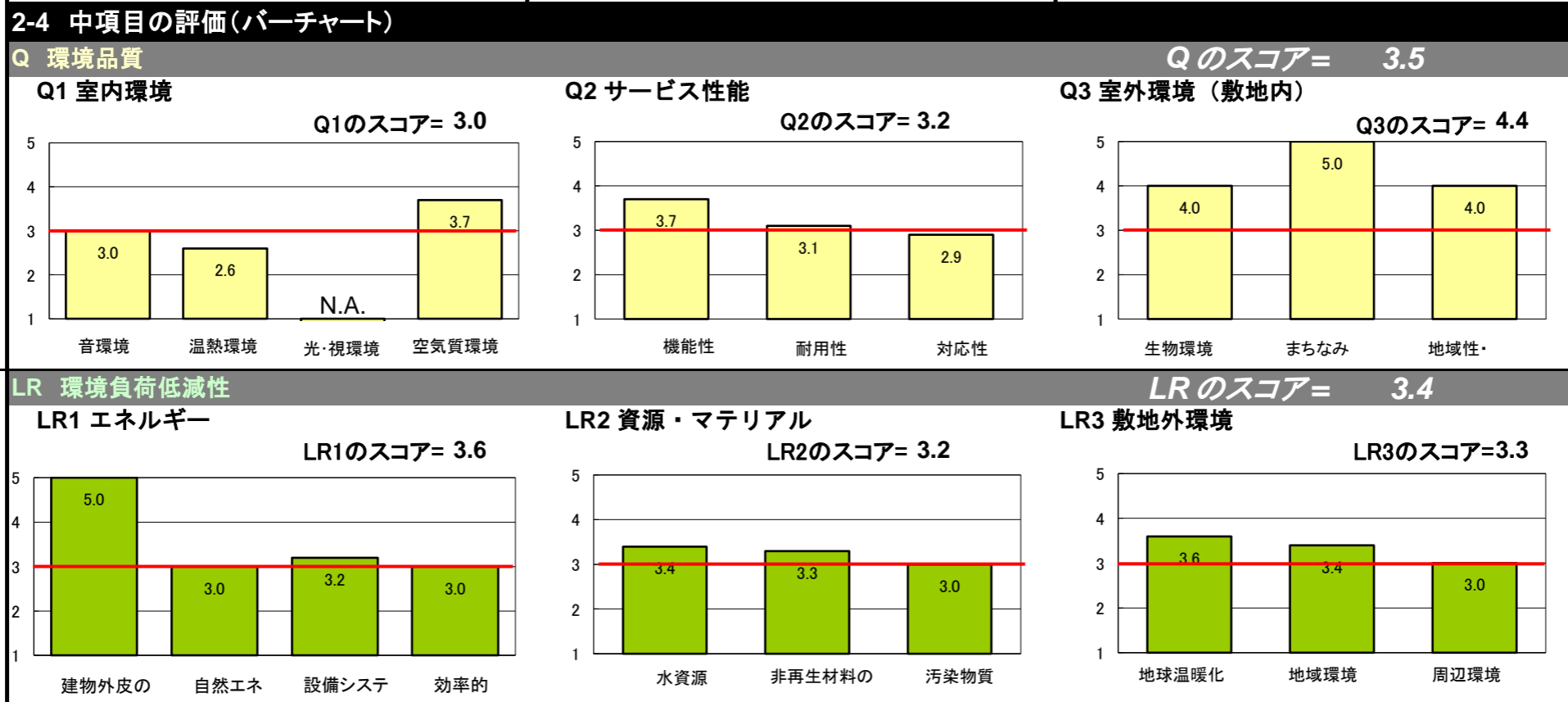
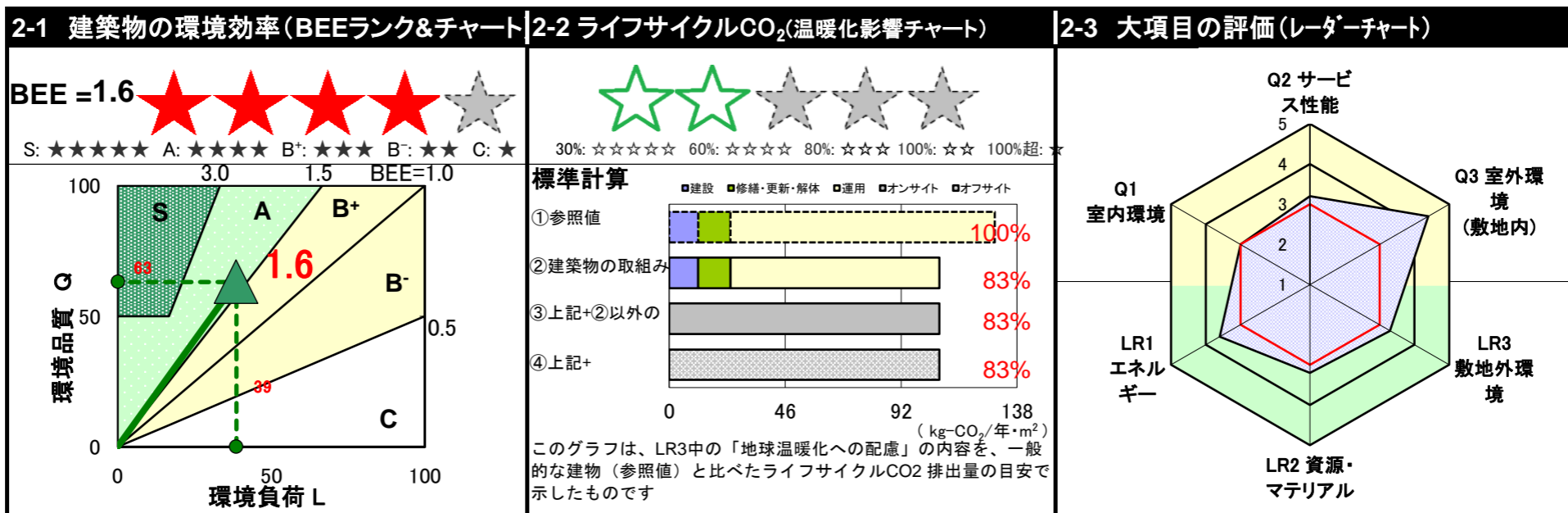


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	朝宮公園総合管理棟	階数	地上1階
建設地	愛知県春日井市朝宮町4丁目1番1、1番2	構造	S造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	不明人
気候区分	6地域	年間使用時間	不明時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2021年5月 予定	評価の実施日	2020年3月25日
敷地面積	125,047 m ²	作成者	村山 大騎
建築面積	1,112 m ²	確認日	2020年3月25日
延床面積	968 m ²	確認者	村山 大騎



3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.6</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>4.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>37.6 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.1</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積(建築面積及び附属物面積)}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分			住居・宿泊部分		全体		
			評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点		重み係数	
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 室内騒音レベル		十分な騒音対策を施した計画	0.2	3.0	0.20	-	-	3.0		
1.2 遮音		適切な遮音効果が得られる計画	0.4	3.0	0.40	-	-	3.0		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		3.0			
2 界壁遮音性能				3.0			3.0			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0			3.0			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0			3.0			
1.3 吸音		十分な吸音が行われる計画	-	3.0	0.20	-	3.0	-		
2 温熱環境										
2.1 室温制御		適切に制御可能な計画	0.4	2.6	0.47	-	-	2.6		
1 室温		適切に制御可能な計画	0.5	3.0	0.50	-	-	-		
2 外皮性能		周辺に配慮した外皮性能を確保	3.0	3.0	0.38		3.0			
3 ゾーン別制御性			3.0	3.0	0.38		-	-		
2.2 湿度制御			3.0	1.0	0.20		3.0	-		
2.3 空調方式			3.0	3.0	0.30		3.0	-		
3 光・視環境										
3.1 昼光利用			-	-	-	-	-	-		
1 昼光率			3.0	-	-		3.0	-		
2 方位別開口			-	-	-		3.0	-		
3 昼光利用設備			3.0	-	-		3.0	-		
3.2 グレア対策			-	-	-	-	-	-		
1 昼光制御			5.0	3.0	-		3.0	-		
3.3 照度			3.0	-	-		3.0	-		
3.4 照明制御			3.0	-	-		3.0	-		
4 空気質環境										
4.1 発生源対策		化学物質の汚染が発生しない計画	0.3	3.7	0.33	-	-	3.7		
1 化学汚染物質			0.5	4.0	0.50	-	-	-		
4.2 換気		外気の取入れが十分可能な計画	0.3	3.0	0.30	-	-	-		
1 換気量			3.0	3.0	0.50		3.0	-		
2 自然換気性能			3.0	-	-		3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮			3.0	3.0	0.50		3.0	-		
4.3 運用管理		原則、禁煙とした計画	0.2	4.0	0.20	-	-	-		
1 CO ₂ の監視			3.0	3.0	0.50		-	-		
2 喫煙の制御			3.0	5.0	0.50		-	-		
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ		県の条例を満たし、移動円滑化基準に適合した計画	0.4	3.7	0.40	-	-	3.7		
1 広さ・収納性			0.4	4.0	0.40	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応			3.0	3.0	-		3.0	-		
3 バリアフリー計画	独自		3.0	4.0	1.00		-	-		
1.2 心理性・快適性		ゆとりある快適な空間を十分に確保	0.3	4.0	0.30	-	-	-		
1 広さ感・景観(天井高)			3.0	3.0	-		3.0	-		
2 リフレッシュスペース			3.0	3.0	-		-	-		
3 内装計画			3.0	4.0	1.00		-	-		
1.3 維持管理			0.3	3.0	0.30	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計			3.0	3.0	0.50		-	-		
2 維持管理用機能の確保			-	3.0	0.50		-	-		
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震・制震・制振		十分な耐震性を持った計画	0.3	3.1	0.31	-	-	3.1		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			0.4	3.0	0.48	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	3.0	0.80		-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		高い耐久性を持つ材料の選定	0.3	3.3	0.33	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数	②	高い耐久性を持つ材料の選定	-	3.0	0.23		-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			-	4.0	0.23		-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			-	4.0	0.09		-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			-	3.0	0.08		-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			-	3.0	0.15		-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	3.0	0.23		-	-		
2.4 信頼性		性能が高い設備機器の採用	0.1	3.0	0.19	-	-	-		
1 空調・換気設備	②		3.0	4.0	0.20		-	-		
2 給排水・衛生設備			3.0	2.0	0.20		-	-		
3 電気設備			3.0	3.0	0.20		-	-		
4 機械・配管支持方法			3.0	3.0	0.20		-	-		
5 通信・情報設備			3.0	3.0	0.20		-	-		

3 対応性・更新性				0.2	2.9	0.29	-	-	-	2.9
3.1 空間のゆとり				0.3	1.0	0.31	-	-	-	
1	階高のゆとり			-	1.0	-	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ			3.0	1.0	1.00	-	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	3.0	0.31	-	3.0	-	
3.3 設備の更新性				0.3	4.3	0.38	-	-	-	
1	空調配管の更新性	②	容易に更新しやすい計画	-	4.0	0.17	-	-	-	
2	給排水管の更新性		容易に更新しやすい計画	3.0	5.0	0.17	-	-	-	
3	電気配線の更新性		容易に更新しやすい計画	3.0	5.0	0.11	-	-	-	
4	通信配線の更新性		容易に更新しやすい計画	3.0	5.0	0.11	-	-	-	
5	設備機器の更新性		容易に更新しやすい計画	3.0	5.0	0.22	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	3.0	0.22	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	-	4.4
1	生物環境の保全と創出	独自③	敷地内の緑化による生物環境の保全協会	-	4.0	0.30	-	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	独自④	周辺の街並みに配慮した建物配置と形態	-	5.0	0.40	-	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			公共性に配慮	0.3	4.0	0.30	-	-	-	4.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	独自④	庇やテラスなどの開放的な空間を設けながら、防犯に配慮した計画	-	5.0	0.50	-	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		快適な敷地内環境の計画	-	3.0	0.50	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	0.40	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー						0.40	-	-	-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.97	3.0	5.0	0.30	-	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用			3.0	3.0	0.20	-	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEI=0.80	3.0	3.2	0.30	-	-	-	3.2
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	-	3.2
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4
1.1	節水		主要水栓に節水コマを採用	3.0	4.0	0.40	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.67	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	3.0	0.33	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.3	0.63	-	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減			-	3.0	0.07	-	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24	-	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	②	-	-	3.0	0.20	-	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	独自	ビニル床材、磁器質タイル	3.0	5.0	0.20	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	独自		3.0	2.0	0.05	-	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.0	0.22	-	-	-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	3.0	0.32	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒			3.0	3.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	①	ライフサイクルCO2排出率83%	-	3.6	0.33	-	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				0.3	3.4	0.33	-	-	-	3.4
2.1	大気汚染防止		大気汚染を極力抑えた計画	-	4.0	0.25	-	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		温熱環境に配慮した計画	-	3.0	0.50	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.7	0.25	-	-	-	
1	雨水排水負荷低減	独自		-	3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	独自	十分な駐車スペースの確保	-	4.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		廃棄物処理負荷の少ない計画	-	5.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	3.0	0.33	-	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	騒音	独自	騒音の発生しない計画	-	3.0	1.00	-	-	-	
2	振動	独自	振動の発生しない計画	-	-	-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	3.0	0.40	-	-	-	
1	風害の抑制			-	3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制			-	3.0	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制			-	3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.0	0.20	-	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策や広告物照明の対策を一部行っている	-	3.0	0.70	-	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		グレアのない光害に配慮した計画	-	3.0	0.30	-	-	-	

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.6
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.6	0.10	
② 資源の有効活用				3.1
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	2.9	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.3	0.19	
③ 敷地内の緑化				4.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	4.0	0.09	外構緑化:37.6%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

計画上の配慮事項	
総合	1.スポーツを楽しみ、健康を育む公園施設 2.環境と調和し、全ての市民が集い憩える公園施設 3.災害に強くて長持ちし、環境に優しい公園施設
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・室内騒音環境が適切なレベルとなるような計画 ・外壁・屋根は高断熱化し、開口部は熱不可抑制を図ることで空調負荷を低減 ・軒先を出すことで、日射を制御し熱負荷を抑制 ・建物をシンプルな長方形とし、外気に触れる面積を減らし、熱負荷を低減
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然採光を重視した計画とし、明るい室内環境を確保 ・内装計画においては、木材等の自然素材を導入
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の街並みに調和する建物の配置や形態 ・広場やテラス等、建物内外を連関させる豊かな空間づくり ・中高木や植栽、庇を設けることで日陰の形成
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・熱負荷、空調負荷を低減する建物計画
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・主要水栓に節水コマを取り付け、水資源を保護 ・リサイクル材を積極的に使用
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・騒音、悪臭が発生しない施設計画 ・敷地内の十分な駐車、駐輪スペースの確保
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。